



平成 19 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C K グ ル ー プ
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 廣 谷 彰 彦
 (J A S D A Q ・ コ ー ド 番 号 2 4 9 8)
 問 合 せ 先 取 締 役 長 尾 千 歳
 統 括 管 理 本 部 長
 T E L 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

平成 19 年 9 月期業績（連結・個別）予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 9 月期（平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）の業績予測について、平成 19 年 1 月 29 日付当社「平成 19 年 9 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）」及び平成 18 年 11 月 17 日付当社「平成 18 年 9 月期個別財務諸表の概要」にて発表致しました業績予測を下記の通り修正致します。

記

1. 平成 19 年 9 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 19 年 1 月 19 日発表)	7, 7 0 0	△ 3 3 0	△ 2 1 0
今 回 修 正 予 想 (B)	7, 6 5 7	△ 4 3 8	△ 3 1 8
増 減 額 (B-A)	△ 4 3	△ 1 0 8	△ 1 0 8
増 減 率 (%)	△ 0. 6	△ 3 2. 7	△ 5 1. 4
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 9 月期)	—	—	—

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 △62 円 74 銭

(2) 修正の理由

受注高については、前連結会計年度に引き続き受注が好調であり、(株)ワールドが前中間連結会計期間比 138 百万円、(株)オリエンタルコンサルタンツが前中間連結会計期間比 97 百万円それぞれ増加し、新規連結会社の(株)アサノ建工の受注高 482 百万円を加え、8,517 百万円と前中間連結会計期間を 779 百万円上回る見込みであります。下期への繰越残高は 11,646 百万円と前中間連結会計期間を 930 百万円上回る予定であります。

売上高については、上期に完成予定であった大型の解体工事が下期の完成となったため、ほぼ計画通りにとどまりました。その影響も受け、一部の子会社において上期売上業務の原価率が悪く、経常利益、当期純利益は計画を下回る見通しであります。

(3) 通期(平成18年10月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年1月19日発表)	19,500	530	240
今回修正予想(B)	22,500	650	290
増減額(B-A)	3,000	120	50
増減率(%)	15.4	22.6	20.8
(ご参考) 前期実績(平成18年9月期)	17,167	517	106

(参考)1株当たり予想当期純利益 50円83銭

(4) 修正の理由

受注高については、厳しい受注環境のなかにおいて、業務の発注方式は従来の価格競争による入札方式が減少し、今後はより一層技術競争によるプロポーザル方式が増加してまいります。したがって、継続的に受注の増加、利益確保を図っていくためには、プロポーザル方式への対応力の強化が重要な課題であります。このため、当連結会計年度では、技術提案力に優れた社員を積極的に中途採用し、技術提案力、生産力及び成果品質の向上に引き続き努めているところであります。それらの効果により、受注高は、前連結会計年度を大幅に上回る見込みであります。売上高については、既存会社においてもほぼ公表値の達成を予定しております。また、大成基礎設計(株)、吉井システムリサーチ(株)の新規連結子会社が下期に連結対象となるため、22,500百万円と当初計画を15%上回る増加を見込んでおります。

経常利益、当期純利益については、一部子会社で計画を下回っているものの、受注不足の会社から人手が不足する会社へ人員補充するなど、グループ全体として最適な人員配置などにより、生産体制を安定させ、利益の増大を図ります。下期に繰越した受注高は、前中間連結会計期間に比べ1,074百万円増加し、進捗した出来高に対する利益率は前期並みで推移しております。また、新規連結子会社の下期の業績が当連結損益に寄与するため、経常利益は650百万円(22.6%増)、当期純利益は290百万円(20.8%増)と2割以上の上方修正となりました。

2. 平成 19 年 9 月期 単体業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 11 月 17 日発表)	2 9 0	5 0	5 0
今 回 修 正 予 想 (B)	2 8 6	1 5 9	1 4 6
増 減 額 (B－A)	△ 4	1 0 9	9 6
増 減 率 (%)	△ 1. 4	2 1 8. 0	1 9 2. 0
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 9 月期)	—	—	—

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 28 円 07 銭

(2) 修正の理由

平成 18 年 8 月 28 日に持株会社を設立して以降、持株会社設立に伴い管理費用、M&A 費用の増大を見込んでおりましたが、管理の効率化により費用が抑制され、また、M&A の調査費用は予算を下回りました。さらに、(株)オリエンタルコンサルタンツから当社に移行する予定であった経費に関しても計画を下回り、経常利益、当期純利益は増加する見込みであります。

(3) 通期 (平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 11 月 17 日発表)	4 8 5	8 0	8 0
今 回 修 正 予 想 (B)	4 4 4	9 0	8 9
増 減 額 (B－A)	△ 4 1	1 0	9
増 減 率 (%)	△ 8. 5	1 2. 5	1 1. 3
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 9 月期)	9 4	6 7	6 5

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 15 円 24 銭

(4) 修正の理由

中間期の経費発生状況を勘案し、通期の経費予算を見直し縮小化致しました。それに伴い、経費の原資として下期に予定していた子会社からの配当を減少させる予定であります。これに伴い、前回発表予想時に計画した売上高を下回る見込みとなりました。

以 上